

試聴会・訪問記掲載

河口無線ハイファイディリティ試聴会報告(2016.10.1)

河口無線で開催されたエレスタのマイナスイオンが基板にダイレクトに作用するアクセサリ「S.PIN-EVO」を中心に、アナログ関係のアクセサリもまじえた試聴会に行ってきました。

<使用機材>



エレスタ RCA 端子アクセサリ 「S-PIN-EVO」 ¥12,960 (2個1組)



LUXMAN SACD プレーヤー D-08u ¥1,188,000



ラックスマン プリアンプ C-900U ¥1,188,000



ラックスマン パワーアンプ M-900U ¥1,188,000



ラックスマン ベルトドライブプレーヤー PD-171A ¥534,600



マイソニックラボ MC型カートリッジ エミネント-GL ¥378,000



B&W スピーカーシステム 802D3 ¥3,672,000 (ペア)



当日のセッティング

<試聴の経過>

エレスタの製品は同社のサイトに紹介されており、用途に応じていろいろな製品があります。

<http://elesta.jimdo.com/>

当日紹介されたのは RCA 端子に差し込んで基板の静電気を除くという RCA 端子アクセサリ「S.PIN-EVO」の他、機器の上に置くもの（写真左）、スタビライザーを兼ねたもの（写真中）、アナログ盤の下に敷くもの（写真右）などでした。



最初に RCA 端子アクセサリ S.PIN-EVO の効果ということでプリアンプの RCA 端子に 1 ペアを差し込み、その有無をジャズとサンサーンスの 3 番で確認することから始まりました。いずれも音の粒立ちが細かくなり、低音の滲みや弦の滑らかさが改善されることが分りました。

S.PIN-EVO のセンターピンを抜くとデジタル端子にも使えるということでそのデモがありましたが、先のプリの端子と同様の効果がありました。さらにプリの端子にも追加していきますと、相加的に効果が増強していくことが分りました。ここで Jazz のモノラル録音はどうかということで、ピンを順次追加していきますと、あたかもステレオ録音のような実在感が出てきました。最近の録音ではどうかということで、女性ボーカルがかかりましたが、ピンを順次追加していきますと、声が明晰になり、ピアノの切れが良くなっていくことが分りました。

ここでアナログ再生における効果のデモに移り、アナログ盤の下に敷く for Analog Disk EX Vol.3 の効果をグリーグの P 協で確認しました。カートリッジはマイソニックラボのエミネント-GL が、フォノイコは Lux のものが使用されました。for Analog Disk EX Vol.3 を敷くと音の粒立ちがはっきりとし、ピアノの高音の切れや左手の押し出し感が増強されます。アームなども帯電するというので、機器の上に置く Bass Master vol.7 をアームベースに触れさせますと、同じような効果がありました。さらにプリアンプの RCA 端子にも先ほどのピンを挿しますと、相加的に効果が強くなりました。ここでいったんフリーにして、フォノイコの空き端子にピンを挿しますと、ざらつき感が減り、ピアノの切れがよくなりました。

ソースをジャズに替え、アクセサリなしの状態から for Analog Disk EX Vol.3 を敷く→プリアンプへの for Analog Disk EX Vol.3 のピン挿入→プリアンプから外してフォノイコへの for Analog Disk EX Vol.3 のピン挿入と替えていきますと、それぞれの効果が確認できました。

ここでいったんアクセサリーなしの状態に戻し、新世界をかけながら、スタビライザータイプの Disk Stabilizer Vol.5 を置く→for Analog Disk EX Vol.3 を敷く→アームベースに Bass Master vol.7 を触れさせる→プリアンプの端子に S.PIN-EVO を挿すというように追加していきますと、その都度効果が増強していきましたが、それまでの効果が十分に発揮されており、最後のピンではそれほど大きな効果は認められませんでした。

ここでアースの除電に効果があるかどうかを知りたいという注文を出して、フォノイコのアース端子に触れさせるテストを行いました。ソフトではありますが、効果がありました。この場合、マイナス側だけしか除電しないので、効果が半減するという説明があり、センターピンを抜いた状態で挿しこんでも同じことだということで、そのテストも行いましたが、フォノイコのアース端子に触れさせた場合と同程度の効果でした。

さらに CD のトレイに貼ったり、CD に貼ったりするシート状のものも販売されていること、Bass Master vol.7 を CD に触れさせると一時的には除電効果が発揮されることの説明とデモがありました。

なお、本アクセサリー群の除電効果のメカニズムについてデモの始まる前に聞いたところ、放射性物質を含む鉱石をブレンドしており、形状やコストの範囲内で最も効果的にブレンドしたり、積層したりするところがポイントだということでした。また、デモにおいては本来は使用したハイエンド機器だけでなく、もっと普及品クラスの製品に使ってみてハイエンド製品に迫るパフォーマンスを期待したかったということでした。

<まとめ>

デモのあったすべてのアクセサリーに効果が認められ、特にアナログの前段階での効果が大きいように感じられました。本試聴会の目的ではありませんでしたが、マイソニックラボのカートリッジは、解像度、バランス、ニュートラルな癖のなさで非常に好感が持てました。

以上